

広報やまと

2011(H23)
7
No.76
文月
6月22日発行



その鼓打ち、魂を揺さぶる

6月4・5日に開催された日向環宿場町ウォーク。1日目終了後に演奏を披露した大阿蘇蘇陽太鼓「喜楽」。激しくも優しい太鼓の音が馬見原の町に広がりました。(17ページに関連記事)

Contents 主な内容

4～5P…………… 節電にご協力を
6P…………… 被災地への支援
12～13P…………… まちの話題

16P…………… 清和文楽韓国公演
20P…………… 子育てフェスタ
21P…………… すくすく育て



『一ツ葉の森』が誕生

～学生がそよ風パークに
300本の桜を植樹～



平成20年11月に旧白糸第3小学校跡(目丸)に開校した、通信制高校「一ツ葉高等学校」。毎年町内で行われるスクーリングでは、地域の方々の協力のもと、田植え稲刈りの体験などを行っています。町を訪れるのは、福岡・小倉・熊本市にあるキャンパスに通う学生です。

上)がそよ風パークに寄贈されたものの一部です。学生は慣れないスコップやクワでの作業に苦戦しながら



夢を込めたプレート



一ツ葉高等学校(校長 佐藤利幸)

株式会社立広域通信単位制高等学校として、平成20年11月に開校。旧白糸第三小学校を本校(目丸)として、熊本市、博多、小倉、東京、ニューヨークなどにキャンパスがあり、241名の学生が学ぶ。

も、予定時間よりも早く無事すべての植樹が終了。植樹した場所は「一ツ葉の森」と名付けられ、学生たちは、掲げられた「一ツ葉の森」の看板を見ながら、花が咲く春を今から楽しみにしていました。植樹した木には将来の夢や思いを書いたプレートがつけられ、今後も、スクーリングに合わせて学生が管理に関わっていく予定です。

平成22年度交通安全標語 コンクール入選作品



山都地区交通安全協会が募集した、交通安全の標語コンクールの入選作品を毎月2作品ずつご紹介していきます。(学校名・学年は当時)

アゴひもが ゆるんできたら 気もゆるむ

(矢部高2年 木戸拓耶)

「行ってくるぞ」とお父さん あなたの帰りを待ってるね

(蘇陽高3年 鈴木聖佳)